

甲府一高新聞

一高祭号

発行所
甲府一高新聞部
甲府市美咲二丁目13-44

7ブロックで放つ最後の輝き 第77回 一高祭

総合優勝 赤ブロック 熱気に包まれた三日間

第77回一高祭が6月18日から20日にかけて本校、YCC県民文化ホール、緑ヶ丘体育館にて開催された。今年は、クラス数減少のため最後の7ブロックとなり、ブロックを7色の虹に例えて「彩虹」というテーマのもとで行われた。

一日はYCC県民文化ホールで文化祭が行われた。開祭式では校長先生や、生徒自治会長と一高実行委員長が挨拶をし、皆が総して7つのブロックが集まる最後の一高祭に対し、寂しさも残るが全方で楽しみ充実した三日間にした、と語った。

その後各ブロック長が出演する個性が溢れるインタビュー映像が流れ、会場を大いに盛り上げた。また、ビデオから飛び出るような演出で会場後方からブロック長がステージ上に登場すると、生徒は温かい拍手でブロック長を迎えた。今年で7つのブロックで、一

高祭を創りあげるのが最後となる。そのため、ブロックがそれぞれ団結力を高め、より一層一高祭に向けての士気を鼓舞した。

生徒自治会長と一高実行委員長、ブロック長が一高祭開祭宣言をすると、場内では熱い歓声や拍手で湧き、記念すべき第77回一高祭が幕を開けた。



【 ブロック長達による開祭宣言 】

個性あふれるクラス劇

文化祭

一高祭二日は開祭式に続き、文化祭、各クラスの発表が行われた。文化部の発表は、吹奏楽部・弦楽部・箏曲部・ダンス部・アカペラ部の順に行われた。

クラス発表は、1年生が6分、2年生が8分、3年生が10分の制限時間の中で各学



【 行列をなしたキッチンカー 】

大盛況を博した校内

一高祭二日はクラス企画に加え、バザーや展示、ライブなど一高祭ならではのイベントが催された。正面玄関で開催されたバザーでは、今回初めてとなるキッチンカーが登場した。フルーツスカッシュやマシマロバーの販売が行われ、買い求める生徒が殺到していた。また、家庭

年のテーマに沿って行われた時間までに気を配ることができなかったため、制限時間内に収めることができず打ち切りになったクラスが複数あった。1年生の発表は「COMET」が学年テーマであり、1位は5組の「原子物語」となった。原子を擬人化した劇であり、もともと水だった酸素と水素が電気分解させられてしまい、記憶をなくした酸素が他の物質と結合しては離れてを繰り返す、水素を探し求める旅に出る劇だった。2年生の発表は「日常」が学年テーマであり、1位は4組の「桜ドラゴン」となった。偏差値が高い高校に通う生徒がAIに支配された社会でも生

クラス企画

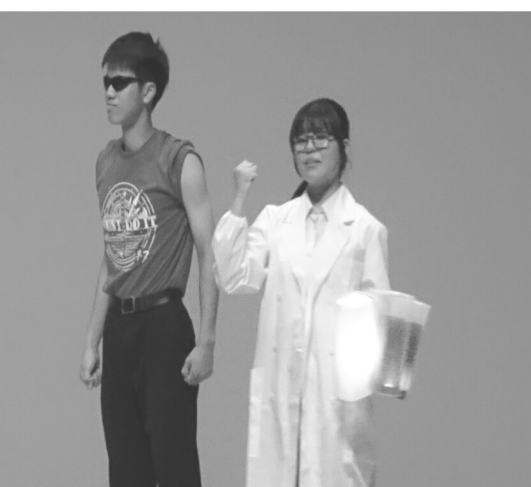
クラブ委員会により今年再開したクッキーとマドレーヌの出店も一時間程で完売するなど人気を見ており、一高祭に訪れた保護者と生徒を大いに楽しませていた。また、各フロアではクラスごと催し物を行うクラス企画が行われた。この日のために放課後遅くまで残り準備をしていたクラスも多かったため、廊下はさまざまな飾りで華やかとなり、平日であったにも関わらず多くの生徒や保護者が来校していた。時間内で全ての企画を巡るのが難しく、1年生の中で特に人気を集めていたのは5組の「クイズラボ」であった。担任である化学の若尾先生の研究に巻き込まれたという設定で、化学についてのクイズだけでなく、空気砲を用いた射的などのゲームを行い、高い得点を目指すというものであった。2年生のクラス

企画では5組の「Spinning with 215」という、鉄パイプとタイヤを駆使した上下しながら回転するシーソーのアトラクションが人気を集め、学年1位を獲得した。また、2年4組の「モンスターハブニングハイド&シーク」では人気映画モンスター・インクを模したもので、暗闇の中でカートに乗り、特定のマークを探するという企画内容だった。最後の一高祭となる3年生は各クラス

「TEPPEN」は世界史か日本史のコースを選択した後、双六をして止まったマスにあるクイズに答えるという企画だった。7組の「すすめ40000km! 最高の人生」は生まれ変わった国の経済状況によって、ゲームで稼げるポイントの還元率が変わるという企画内容であった。現在の世界の経済格差や課題解決に向けて考えさせられ、注目を集めていた。



【 3年5組の本格的なお化け屋敷 】



【 劇を披露する3年7組 】

笑顔に宿す本気

体育祭

一高祭三日目となった体育祭は緑が丘スポーツ公園の大体育館にて行われた。競技はブロック対抗リレーから始まり、

借り物競争、障害物競走、借り物競争、障害物競走、借り物の順に実施された。ブロック対抗リレーでは各ブロックから、足の速さに自信のある生徒たちが出場した。スタート時には号砲の音とともに生徒が後ろへと走り出し、応援している生徒を助けていた。全ての走者が走り切ると、体育館全体から走者へ大きな拍手が送られた。借り物競争では、「2年生」や「名前に大中小が含まれる人」などの題が出された。何度も駆け出されて走る先生方や、他のブロックに負けじと全力疾走する生徒もいた。参加していない生徒も、声かけでサポートしたり、独自の掛け声でブロック一丸となって応援したりした。



【 拮抗するブロック対抗リレー 】

援したりした。障害物競走では、奇数走者はフープ10回とピンポン玉運びに、偶数走者は縄跳び20回とドリブルに挑戦だ。フープをうまく回せずに苦勞する生徒や、縄跳びに引っかかり苦戦する生徒が見られた。体育祭の最終競技として行われた長縄は参加する人数もほかの競技と比べ多かった。そのため一番の盛り上がりを見せ、各クラスが日頃から培ってきた団結力と事前練習の成果を存分に生かし、全力を出し切っていた。その熱気に応えるように客席にいた生徒がブロック全員で跳んだ回数を叫び、一致団結して応援する声が響き渡った。

今回は体育館での実施で体調を崩す生徒も少なく、感染対策も緩和されたことにより自由な環境で全員が全力を尽くし楽しむことができた。



【 息を合わせて跳ぶ3年2組 】

閉祭式・結果

体育祭の後、学校に戻り、交流時間を経て体育館で閉祭式が行われた。結果発表では部門ごとで順位が発表され、最後に行われた総合順位の発表では、1〜3位のブロックの各学年代表が呼ばれ表彰状を受け取り、そのたびに大きな歓声が様々なブロックから上がった。

結果に一喜一憂

【 結果一覧 】

総合順位	1位	2位	3位
ブロック	赤	橙	紫
1年	1組	5組	6組
2年	5組	4組	3組
3年	7組	2組	3組
クラス発表			
ブロック	緑	橙	赤
1年	5組	4組	6組
2年	4組	2組	5組
3年	7組	5組	2組
クラス企画			
ブロック	橙	黄	赤
1年	5組	1組	6組
2年	5組	6組	1組
3年	3組	7組	1・2組
似顔絵			
1年	2組	4組	3組
2年	3組	4組	6組
3年	3・7組		4組
体育祭			
ブロック	赤	緑	紫

像から始まり、赤ブロック長と黄ブロック長により新しい学校のリーダーズの「オトナブルー」、他のブロック長による横浜銀組の「ツッパリHigh School Rock n Roll」(「登校編」)などのダンスが披露された。

最後は生徒会長の大森朝陽さん、一高祭実行委員長の立川芽依さん、全ブロック長が登壇し第77回一高祭の閉祭を宣言した。拍手に包まれながら閉祭式は幕を閉じた。

黄ブロック 川崎 笑

311 216

あっという間に過ぎるから楽しもう！と意気込んで迎えた学園祭でしたが、実際終わってみると一日一日がとても色濃く、ぎっしり詰まった日々でした。悔いのないよう細部にこだわり全力で取り組んだからこそ、黄ブロック長として最高の思い出を作ることができました。

みんなありがとう。

紫ブロック 野沢 夏

312 215 113

最初は緊張や不安でいっぱいだったけど、周りの人達に助けってもらい、最終的には3位という順位をとることができてとても満足しています。当日もブロックみんなが楽しそうにしている姿をみて、自分自身も緊張がほぐれて、心から楽しむことができました。紫ブロック

の皆さんが！

橙ブロック 柿木 伶太

313 214 115

ブロック長として橙ブロックのみんなと最高の一高祭を過ごすことができました。どこまで自分の役目を果たせていたかわかりませんが、すべてが楽しくて幸せな3日間でした。

緑ブロック 文珠川 紗希

315 212 116

ブロック挨拶に行った時はとても不安でした。しかし、3学年で協力し

ブロック長より

みんなが掴み取った準備勝、とても嬉しかったです。ありがとう。

桃ブロック 萩原 陽

314 211 112

ブロック長という立場で悩むことも多くありましたが、この3日間、みんなの本気で楽しむ姿やとびっきりの笑顔を見ることができて本当に嬉しかったです。桃ブロック

の皆さんが！

高祭は完成しませんでした。僕と一緒に盛り上げてくれたみんなが大好きです。最高の経験がありました。

緑ブロック 文珠川 紗希

315 212 116

ブロック挨拶に行った時はとても不安でした。しかし、3学年で協力し

青ブロック 小江 青葉

316 114

不甲斐ないことも多かったのですが、終わってみれば、ブロック長としてはじめてのことばかりだった一高祭は、僕にとって最高に楽しいものとなりました。支えてくれた青ブロックの皆さんには本当に感謝してもしきれません。この一ヶ月間、本当にありがとうございました。

赤ブロック 塩田 一颯

317 213 111

赤ブロックでは「楽しむ」ということを大事にしていけることを共有してきました。優勝ができたことは赤ブロックがどのブロックよりもこの一高祭を楽しんだという証拠だと思います。赤ブロックのみんなと作った一高祭は、3年間で一番楽しかったです。



7ブロックの足跡 「彩虹」